

[illegible]

	神	大	打	安	点
⑦H	丹	沢	2	0	0
⑥H	長	川	2	0	0
⑤D	谷	島	4	0	0
④H	中	岡	4	2	0
③5	富	井	4	0	0
②4	士	原	3	0	0
①H	梶	本	3	0	0
振	東	宏	0	1	0
球	渡	藤	3	1	1
3	伊	村	1	0	0
	奥	井	2	0	0
	石	凌	0	1	0
	松	藤	1	0	0
	遠	本	0	0	0
	球	球	0	0	0
	振	振	0	0	0
	3	4	1	6	29
				6	3

▽本塁打	富田
(百瀬)	
▽二塁打	土井
(関)	
▽審判	本間 京
谷田中 田畑	
試合時間	2時
間23分	
投手	安賣
手嶋	3 3 3
回 2 3	8 3 3
川 7 1 5	2 3 0
.....	
百瀬	20 5 2
前田	10 2 0
	4 1 0

【桐	大	打	安	点
⑥	杉	山	4	1
DH	鈴	風	4	3
⑦	木	上	4	1
⑨	道	田	2	1
⑧	神	井	4	2
⑤	山	部	3	1
③	渡	襦	1	4
③	鹿	橋	0	0
④	石	0	0	0
②	山	0	0	0
	口	3	5	0
	海	0	0	0
	島	0	0	0
	残	5	0	0
振	球	1	4	3
5	1	2	4	7
	1	1	4	5

【工	大】	打	安
⑦	嶋米早坂	田3	10
④	5	30	00
⑨	坂	10	00
⑧	馬	40	00
③	磯	20	10
HD	磯長角	23	00
HD	大	13	00
②	水	10	00
⑥	仲	21	00
H	城	02	00
6	野	21	00
⑤	4	00	00
H	振球	00	00
振球	併	52	31
115	00	28	31

▽本塁打 鳥居 (関野)
▽盗塁 鈴木 颯
▽渡部、▽失策 米田、浅野
▽審判 勝山、土田
▽田、▽堀内、鎌田
▽試合時間 2時間52分
投関 手回 打安賣
野9 33 31
浅野 5 1 29 5 2
工藤 3 2 17 2 1

躍動感あふれる投球を見せる桐蔭横浜大・関野。神奈川工大を相手に11奪三振1失点で完投した



桐蔭大 関野 1失点完投

「一度やられたらやり返さな
い」と。第一戦で土を付けられ
た神奈川工大との再戦。神奈川
で生まれ育った桐蔭横浜大の関
野は、気迫をボールに込めた。
すらりと伸びた腕をムチのよ
うにしなせれた。切れのある直
球、スライダーに工大打線のバ
ットが空を切る。六回を除いて
毎回の11三振を奪い「味方の援
護に乗せられました」と白球を
放る幸せをかみしめた。

けがから立ち直り、このマウ
ンドに立つ。エースだった湘南
学院高時代は3年時に右肘を故
障し、夏の神奈川大会は痛みを

再起の右腕が躍動

押して登板。直後に手術を受けたが、本格的な実戦復帰は昨春までずれ込んだ。遠回りはしたが「リハビリの時間が今に生きている」。下半身のウエイトトレーニングに励み、昨秋には高校時代から2コアップの最速144^キを計測した。

肘にメスを入れたあの夏、東海大相模高が甲子園で全国優勝を飾った。「小笠原（中曰）とはポイズ時代に戦った。活躍すると自分も頑張ろうと思える」。卒業後の進路が懸かる最終学年を迎え「スタートの遅さをここから取り戻したい」。この右腕にははい上がるストーリーが似合う。

(清水 嘉實、写真も)

神大、桐蔭大が勝ち点

る好救援。桐蔭大は右脇
関野大哉（4年）が工大
打線から11三振を奪い、
1失点で完投した。

第5週第1日は5月4日、横浜スタジアムで神大―横浜国大、関東大―横浜商大の1回戦2試合

神奈川大	3 0 0 1 1 0 0 0 0 0 × 0 3 2
関東学院大	◇3回戦 (神大2勝1敗)
神奈川工大	0 0 1 0 1 0 0 0 0 0 0 1 5
桐蔭横浜大	◇3回戦 (桐蔭大2勝1敗)

を行う。

新人川合が好救援

⑪ 神奈川大の注目ルーキー川合が好救援で勝利に貢献。直球で打者の懐をえぐりながらスライダー、カーブで泳がせて打ち取り「これが自分の持ち味。少しずつ(大学野球の)環境にも慣れてきた」と自信を深めた。

鶴岡、掛川西高時代はエ
 ースで4番。高校通算10本
 塁打の打力も兼ね備え、投
 打でプロのスカウトの視線
 を集めた。神奈川大学リー
 グの他校や兄・隼人が所属
 する法大など強豪校から誘
 いを受けた逸材は「リーグ
 戦でどんどん投げて経験を
 積みたい」と目を輝かせた。

3回戦2試合が29日、サテーフォー相模原球場で行われ、神奈川大が3-2で関東学院大に競り勝ち、桐蔭横浜大が5-1で神奈川工大を下してそれぞれ勝ち点を挙げた。

神大は2番手の川合勇
気(1年)が六回から3
イニングを無失点に抑え